

沿 革

(1) 設立の趣旨

昭和36年、国と県の補助を受けて久住町赤川に設置された有限会社久住実験農場（大型機械化実験農場）跡地を、昭和43年9月大分県が買収して、久住種畜場放牧試験地とし、草地畜産の関係業務を行ってきた。昭和45年4月には、この放牧試験地の用地を母体として、新たに草地畜産開発センターを設置し、草地の造成と維持管理、牛の放牧育成、肉用牛の繁殖経営及び草地酪農経営の実証展示を行ってきた。さらに昭和46年4月から草地畜産経営に従事しようとする後継者に対して技術経営等の研修業務を開始した。

平成10年4月1日に畜産研修センターとして発展的に改組し、従来の畜産後継者の育成研修と併せ、県、市町村、農業団体等の畜産技術者を養成する畜産研修の総合的な拠点としてオープンした。

平成17年3月11日に研修生宿泊施設「高原寮」を本場に新築移転した。

(2) 年 譜

昭和43年	大分県久住種畜場放牧試験地として業務開始、放牧経営科設置
昭和45年	大分県久住種畜場放牧試験地を大分県草地畜産開発センターに改組 肉用牛繁殖及び草地酪農経営実証開始
昭和46年	畜産後継者育成業務開始、第1期研修生入所
昭和52年	肉用牛繁殖55頭を基盤とした肥育一貫経営実証開始
平成元年	乳牛を本場へ移管
平成10年	草地畜産開発センターを畜産研修センターに改組 畜産研修センター開所式並びに第1期本科研修生入所
平成17年	本場に研修宿泊施設「高原寮」新築移転
平成19年	赤川試験地機能移転、廃止



(草地畜産開発センター時代の放牧風景)



(研修生宿泊施設「高原寮」)